

# Tuuli

トゥーリ

2016年10月15日発行



## 至誠合同バザーのお礼

毎年至誠ホームのバザーはお天気に恵まれます。ところがどうしたことか、今年朝から雨が降ってしまいました。バザーは雨天決行です。9時過ぎからボランティアさんが集まってくださいました。9時30分にほぼ全員がそろい、旭ホーム長からボランティアさんにごあいさつの後、配属先に行っていました。

10時に橋本理事長の太鼓の合図で開会です。



ボランティアさんには配属先に行っていたいただいたものの、この大雨では外へ出るのもまなりません。お部屋でお話し相手をお願いしたり、玄関先まで来たものの、大雨で外出をあきらめバザーの様子を見るだけでフロアにUターンだったり、本当に恨めしい雨でした。

雨にもめげずお年寄りとお相傘で出かけてくださったボランティアさんもいらっしゃいました。お年寄りが濡れないようにとボランティアさんご自身はずぶ濡れです。

そうこうするうちにアトラクションが始まりました。お年寄りボランティアさんがセンター2階のホールに集まってきました。「たまご」の皆さんによる歌や踊り、ハーブとリコーダーの演奏、小太郎さんの日本の玩具を使ったの曲芸、「るーずぱんてい」さんの歌など盛り沢山でした。

お昼が終わったころ、ようやく雨がやみました。2時にバザーも終わり、後片付け終了後、ボランティアさんの慰労会が始まりました。「雨のおかげでじっくりアトラクションが見られた。」という声もありました。将来福祉関係に進みたいという福生高校の若い皆さん方のあいさつには大きな拍手が湧き起こりました。

ボランティアの皆様、雨の中、本当にありがとうございました。



## バスハイクボランティア募集のお礼

「それ行けみんなでバスハイク！」ボランティアさん募集に大勢の方々が手を挙げてくださり、おかげさまで両日とも、予定数に達しました。ありがとうございました。

お申込みいただきました皆様には、詳しいご案内も出来上がりました。事前にお渡しいたしますのでボランティアコーナーまでお声掛けください。

- ◆ 集合時間：7：00
- ◆ 集合場所：錦町至誠ホーム1階 受付前
- ◆ 持ち物：動きやすい服装、雨天用にレインコート、ご自身の飲み物、スニーカー  
晴天の場合は日よけの帽子  
リュック、筆記具



(両手があくように)

3



タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。

連絡先

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel：042-527-0035 Fax：042-527-2646 E-mail：[shisei-volunteer@shisei.or.jp](mailto:shisei-volunteer@shisei.or.jp) HP：<http://www.shisei.or.jp>

# デイホーム外出活動のお知らせ

デイホームでは今年も秋のお出かけを計画しています。季節の移り変わりを感じていただいたり、日ごろ行けない場所での買い物を楽しんでいただけます。このような外出活動にもボランティアさんのお力をお借りします。行っていただくボランティアの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 日にち：10月19日（水）、21日（金）、28日（金）、31日（月）  
11月2日（水）、8日（火）

◆ 行き先：八王子「道の駅」、豊田「イオンモール」、豊田ファッションセンター「しまむら」など

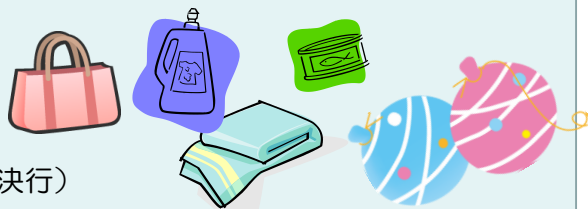
## 第3回至誠ホーム調布バザーのお知らせ

調布若葉ケアセンターと調布柴崎ケアセンター合同で調布バザーを行います。錦のバザーと同様に新品衣料、雑貨、石鹸などのご寄附も錦で受け付けております。立川からは少し距離がありますが、見学方々、バザーにお出かけ下さい。

◆ 場所：至誠ホーム調布若葉ケアセンター  
調布市若葉町3-1-5 ☎03-3326-7600

◆ 日時：11月20日（日） 10:30~14:00（雨天決行）

模擬店、手作り作品、お遊びコーナー、介護相談、フリーマーケットなど盛りだくさんです。どうぞお誘いあわせの上、お越しください！



## フィンランドってどんな国？



至誠ホームとフィンランドのパキラホームとは毎年職員の交換研修を行っています。今年日本からは至誠特養生活アクティビティ副主任で言語聴覚士の筧川職員と至誠ホームキートス2階介護、副主任の小熊職員が8月26日から3週間、フィンランドで研修を受けてきました。

筧川職員はこのT u u l iでも数年前に「失語症について」などを執筆してくれました。そこで帰国した筧川職員にフィンランドについての随想文をお願いしました。

至誠ホームでは毎年、フィンランドの福祉施設と交換研修を行っています。今年は私とキートスホームの小熊職員が行かせていただきました。

フィンランドは北ヨーロッパにあり、首都はヘルシンキ、人口は約540万人の国です。日本からは飛行機で8~9時間ほどかかります。日本との時差は7時間（夏は6時間）あり、連絡を取る時は要注意です。公用語はフィンランド語とスウェーデン語ですが、英語も8歳から学校で習い始めるそうです。

皆さんはフィンランドというどんな印象がありますか？ムーミン？オーロラ？サンタクロース？福祉の進んでいる国？森と湖の国？いろいろありますが、私の印象としては「暖かい」です。もちろん気候がというわけではありません（実際、「夏じゃない、秋だ！」と思うくらい夜はかなり冷えまして）。人が暖かいです。研修の受け入れ先の施設の方はもちろん街中で会った方々もとても暖かい方達でした。

そんな暖かいなあとと思った出来事を1つ話させていただきます。その方はヘルシンキの駅のそばで会った方です。ヘルシンキ駅のすぐ横、広場のような開けた場所に花壇があり、色とりどりの花が咲いていました。日本では見ないような花もあったので写真を撮っていると同時に写真を撮っていたおじいさんがにっこりと笑いかけてくれました。嬉しくなってしまうようなとても素敵な笑顔でした。「初対面の外国人にも笑いかけられる」そんな暖かい国が私のフィンランドの印象です。（筧川 梢）



今年、フィンランドからは10月28日にアイヤ・ハルユさんがいらっしゃいます。パキラホームのショートステイユニットで働く実践看護師さんです。詳しくは次号でご紹介したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。